

与謝野の田んぼから感動と幸せの連鎖がSTART 京都祐喜 田んぼオーナー募集のご案内

お米の「学び」なおし **2026** みんなで米をつくらう

お米がこんなに注目されたのはいつ以来？
高い安い、値段のコトではありません。

米騒動の「次」へ 与謝野の田んぼへようこそ!!
米づくりへようこそ!!!

MY田んぼを持とう!!!

1区画オーナー料金 **120,000**円税別
129,600 税込(8%)

お申込み期間 1月11日～3月29日迄 お申し込み後、請求書を発行致しますので指定口座にお振込みお願い致します。

CHECK!

つながる田んぼ

毎年素晴らしい、
タレント皆様、経営者様、
個人の皆様、企業様が賛同。

世界に「ひとつ」だけの
オリジナル米袋作ります
大切な方への贈物・プレゼント

取引先・社員・ご家族・知人・友人へ
必ず喜んで頂けます。



オーナー様名・企業名、
ペンネーム・ロゴ等、
名前を印字致します。

会社ロゴ・その他、
デザインは、事前に、
ご相談させていただきます。

区画の広さは1口=1.5アール

1区画でお米60K

オーナー皆様は希望の作業のみ、
体験して頂けます。

オーナー米の発送時期について ★配送料金は別途★お米発送の際に送料請求書同封させていただきます。

★稲刈り後、10月初旬～11月下旬★ 一括お届け・数回に分けて・贈物として等々別途ご相談させていただきます。

日々の田んぼ作業、管理は京都祐喜が責任持って管理致します。

Point!



オーナー料金に含まれる内容について



Point!

オーナー皆様の食卓に安心と健康と与謝野町の「美味しいお米」をお届けします。



Check!

田んぼオーナーの証 権利書の発行 !!



Check!

田んぼオーナー名前入りオリジナル看板作成・設置 !!



Check!

田んぼオーナー名前入りオリジナル米袋作ります !!



Check!



60kg



Check!



2Kg



5Kg



白米



玄米

選択可能 !!



Check!



田んぼオーナー様へお一人お一人に、4月19日(日)～9月の稲刈り迄の期間

毎週日曜日

・ **田んぼ配信が届きます**



Check!

生育状況がリアルに
確認出来ます

配信方法★LINE・Instagram・Facebook・mail・Cメールで配信致します。

一緒に★京都祐喜独自★の米作りを学んで頂きます

写真・動画によるリアルな田んぼ等、楽しいお米作り。

与謝野・丹後各地の風景・美味しい物等。



Check!

田植え・稲刈り体験でのランチ !!



その他

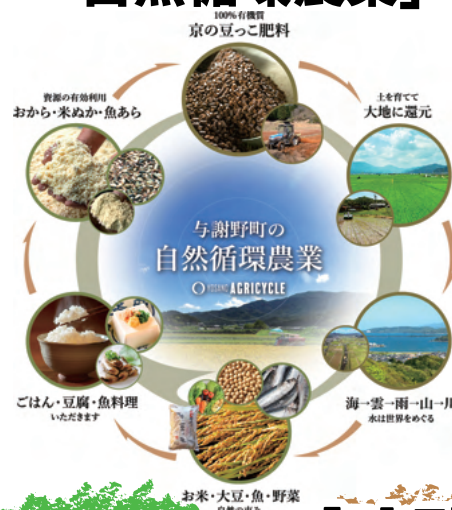


食の神「豊受大神」を祀る三社に囲まれた、
田であなただけの宝物が生まれる、
京都祐喜の田んぼオーナー制度

田からモノ＝宝物＝米
オーナー皆様で3つの感動共有

1. 一から八十八までの感動物語
米という字は八十八という文字からつくられたと言われてます。
お米が出来るまでには八十八回もの手間がかかるという意味です。
2. 田んぼオーナーの体験ギフト
米作りの体験から感動が生まれます。
3. 日々成長する稲と与謝野町の美しい風景・生き物を毎週日曜配信
米作りから感動を分かち合う事で「感動体質」へ

環境に最大限配慮した
「自然循環農業」



健康にいい素材をそのまま肥料に
100% 有機質肥料で作ります。

与謝野町が推進する独自の土づくり「与謝野町」の農業の特徴は、自然循環農業と名付けた独自の「土づくり」にあります。この土づくりの元となるのが「京の豆っこ肥料」です。
町が自ら肥料を作り、町内の農業者と一緒に土づくりを実践しています。

体にいいものだけで作られた「京の豆っこ肥料」京の豆っこ肥料は大豆からできるおから、ミネラル豊富なイワシなどの魚介のあら、有効成分の高い米ぬかといった天然素材と与謝野町の専用工場で肥料化したものです。肥料そのものが「人間の体にいいもの」だけで作られていることが1つの特徴です。京の豆っこ肥料は、熟練の職員が毎日変化する温度、湿度、素材の状態を見極め、微調整を重ねながら製造しています。



与謝野町の自然循環農業は農作物の加工過程で生まれた天然素材を肥料化し、次の農作物に活かすことで、循環のサイクルを作り出しています。
おから、米ぬか、魚のあらといった天然素材から作られる与謝野町オリジナルの肥料「京の豆っこ肥料」は力強い土を育て、かつ河川・海の汚染を最小限にとどめます。
大地は肥沃に保たれ、水は美しく循環する。その恩恵が、また次の農作物に活かされます。

世界遺産登録に向けて動いている「日本三景・天橋立」阿蘇海を守る取り組みと与謝野町は始めました。
農業分野では、自然循環農業により環境に与える負担を少なくした農業を進め、化学肥料から有機質肥料に転換することや浅水代かきの実施、除草剤を使わない畦畔除草等により、天橋立に流れる野田川・阿蘇海の水質改善に努め、農業分野からも「天橋立」をいつまでも美しく保つ為にも応援しながら、環境に配慮した「京の豆っこ米」づくりを進めています。